



2022年度 JICA九州・ JICA沖縄

教師国内研修 募集要項

～足元にある素材で作る授業づくり～

対象者：九州7県の教員

研修期間：2022年6月～2023年1月

全7回の講座・九州内でのフィールドワークを実施（予定）



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

主催：JICA九州、JICA沖縄

後援（予定）：沖縄県教育委員会、福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会、福岡市教育委員会、北九州市教育委員会、熊本市教育委員会

教師国内研修とは

教師国内研修は、講義、ワークショップ、フィールドワークを中心とした研修プログラムです。研修で得た知識や経験をもとにSDGsをテーマとした、開発教育・国際理解教育教材またはワークショップ教材のいずれかを作成し、教師ご自身の国際理解教育・開発教育の実践に役立てていただくことを目的としています。（「教師海外研修」の代替研修として実施いたします。）

学ぶ

開発教育って？SDGsって？

聞いたことはあるけど、実際どういうものなんだろう？そんな疑問にお答えするために、本研修では「基礎」の部分から講座を実施します。また、フィールドワークでは地域が抱える問題を知るために現地を訪問し、話を聞いたり、インタビューを通じて、課題に対してどのような取り組みをしているのか、課題解決の視点を学びます。



作る

SDGsをテーマに、身近な課題を授業に取り入れたい…でも授業で取り入れるにはどうすればいいの？過去の研修参加者の実践発表や、ワークショップ体験を通じて、授業に取り入れるヒントを得ます。そのヒントを元にオリジナルのワークショップを作成していきます。どのように作成していけばいいか、講師やスタッフが丁寧にサポートします。

実践

本研修で作成したワークショップ等を実際の授業で実践していただくために、研修内でワークショップや授業案を作成します。研修で作成したものは講師や研修参加者に共有し、フィードバックを受けることもできます。研修で作ったワークショップは、すぐに授業で実践していただけます！



こんな人におススメ！

- ・国際理解への視点を広げて授業作りをしていきたい方！
- ・SDGsについて理解を深めたい方！
- ・地域の特性や強みについて、生徒たちと一緒に考えていきたい方！
- ・参加型ワークショップについて学びたい方！
- ・先生とのネットワークを作りたいと考えている方！

研修のゴール

- 研修で得た知識や経験をもとに、SDGsをテーマとした参加型学習教材（ワークショップ）を作成する。
- 地域の特性を活かして、地元企業や自治体等が実施する国際協力や地域づくりについて理解を深める。

研修スケジュール・概要

全日程オンラインでの実施 ※フィールドワークを除く
研修時間は10：00～16：00の間で設定する予定

	日程	内容
第1回	2022/6/25（土）	オリエンテーション/開発教育について
第2回	2022/7/2（土）	SDGs/開発教育ワークショップ体験
第3回 フィールドワーク	2022/8/1~8/9 のうち、3日間	九州内のフィールドワーク ※日程・訪問先は新型コロナウイルスの感染状況等を考慮して決定します
第4回	2022/8/20（土）	フィールドワークの振り返り、教員の実践例、 ワークショップの作り方
第5回	2022/9/10（土）	ワークショップの作成
第6回	2022/10/1（土）	ワークショップ実演、フィードバック
第7回	2023/1/21（土）	ワークショップ実践の発表、ブラッシュアップ

参加費用

- 国内で行う研修プログラムに参加される際の食費、個人的費用についてはご負担いただきます。
- 国内フィールドワーク時の旅費/宿泊費、保険加入費用、PCR検査費用はJICAが負担いたします。
※国内フィールドワークに係る宿泊施設および移動手段は、安全面等を考慮しJICAで手配決定します。

応募資格

※以下の条件すべてを満たす方

- ①九州7県の国公立、私立の小学校・中学校・高等学校、中等教育学校、高等専門学校、特別支援学校の教員（教育委員会所属の教員も可）。本採用2年目以降の方。
- ②授業または課外活動等で国際理解教育・開発教育を実践されている方、もしくは、研修後、本研修の経験を実践に活かせる方。
- ③本研修の趣旨・目的を十分理解し、国内で実施される研修プログラム、**全日程に参加可能であること**。
※国内で行うWEBを活用したプログラムで実施するため、WEB会議に参加いただける環境が整っていることが条件となります。
- ④教材づくり等、他の研修参加者と協働して研修に取り組めること。
- ⑤研修中の写真や開発した教材・資料などをJICAの事業・広報に活用することに同意できる方。
- ⑥原則として、応募締め切り時、満50歳以下であること。
- ⑦参加にあたって、所属長の推薦が得られる方。
- ⑧今後、JICAが実施するエッセイコンテスト等の開発教育支援事業に積極的に参加、協力可能なこと。

募集人数・応募方法・締め切り

5月16日（月）必着！

- 募集人数：9名程度
- 応募方法：
 - ①右のQRコードから応募フォームに記入し、送信下さい。
 - ②次の(1)、(2)をメール又は郵送で送付下さい。

(1)氏名・写真、(2)学校長の推薦

※QRコードの読み込みが難しい場合は、下記メールアドレスに「件名：国内研修申込」と記入の上、送信下さい。応募フォームをお送り致します。
※お送りいただきました書類等は返却いたしませんので、予めご了承ください。



選考は書類審査にもとづいて候補者を選抜します。

- ① 5月16日：応募締め切り
- ② 5月20日～：選考実施予定
- ③ 6月3日：選考結果通知予定 ※可否に関する照会は一切お答えできません。

注意事項

- ①年次休暇・研修（職専免）等研修中のサービスの扱いは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認ください。
- ②本事業は研修であり、JICAにおける労災保険等の適用はありません。
- ③所属先の業務出張扱いにて参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の業務上災害に対する補償措置を行ってください。尚、JICAは出張命令依頼書等の発出を行いません。
- ④研修の対象者として決定された場合においても、他の参加者の妨げになると判断された方、また、定められた活動に参加できない方については、研修対象者としての資格を失うことがあります。研修中に研修対象者としての資格を失った場合、キャンセル料等（交通費、旅費、保険料等）は、当該者の全負担となります。
- ⑤今般のコロナウイルス感染拡大の状況によっては、研修内容の変更の場合もございます。
- ⑥本研修に参加頂いた場合でも、**来年度以降のJICA教師海外研修への応募は可能**です。

応募・お問合せ

(特活) 九州海外協力協会

住所：〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町4-8 蝶和ビル503
TEL：092-710-5310 E-mail：ngoqshuint@npo-kyushu.or.jp